

要請番号 (JL56023A08)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	A101 コミュニティ開発	20～45 歳のみ	個別	新規	2年	・2024/1・2024/2・ 2024/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

農業・畜産・漁業省

2) 配属機関名 (日本語)

ザボタ村落開発支所

3) 任地 (ズー県ザボタ市) JICA事務所の所在地 (コトヌー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車で約 2.5 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同省下に、それぞれの地域の特長を生かした7つの農業開発区が設置されている。そのうち、ベナン南部のズー県を含む2県を担当する第5農業開発区の管轄の下、本配属先は市レベル毎に設置された政策実施機関のひとつである(ザボタ市の人口は推定約14万人、幹線道路から奥まった台地に位置する小規模の街)。業務としては、管轄地域の農民を対象に農業技術の普及・指導を担い、活動実施計画の策定・実施、その評価モニタリングを行っている。任地はトウモロコシ、大豆などのほか、オレンジやマンゴーなどの果樹栽培が盛んな地域である。これまで同配属先への隊員派遣はない。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同国の総人口の約5割を占める貧困層は主に村落部住民で第一次産業に従事しており、各農家の収益向上が生活改善に向けた課題である。政府は政府行動計画(PAG:2021-2026)の中で農業、畜産、水産の開発を重点分野に定めており、全国の支所に農業普及員を配置し取り組んでいるが、予算及び人員不足、農家の運営能力が課題であり、いまだ期待されている成果は上げられていない。配属先は、生産性向上を目的とした農業技術指導を提供しているが、収益向上及び安定のための農業経営指導が不十分である。農家グループの活性化及び地域農家の収支改善を目的として、市場志向型(「売るために作る」)農業の導入・確立のため本要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先同僚と連携し、以下の活動を行う。

- 任地の個々の農家や農家グループの営農にかかる現状、具体的なニーズや課題を調査し「見える化」する。
- 調査結果を踏まえ、個人農家や農家グループを対象に、SHEP(市場志向型農業振興)アプローチの導入・定着を目指した活動を行う。
- 可能な限り、SHEPアプローチの普及活動を展開しているほかの任地の隊員と連携し相乗効果を高める。
- 活動状況を定期的に配属先に報告・共有し、同僚との協働を強化する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

支所内執務席

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:

- 支所長(女性、30代)
- 専門農業普及員4名、農業アドバイザー2名(30～50代)

活動対象者:
個人農家、農家グループ

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[汎用経験]：

- ・フィールドワーク（現地調査、研究）経験
- ・ファシリテーション経験

[参考情報]：

- ・市場調査や営業等の経験があると良い
- ・農業経験または農業に強い関心があると良い

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位） [電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可） [水道]：（不安定）

【特記事項】

安全対策上、隊員はバイクタクシー利用不可。電気・水道は不安定であり、不定期的な停電・断水あり。赴任後、現地語学研修を行う。SHEPに関して、赴任前にJICA-NET Libraryを活用した自己学習が必須。